

教科・領域【 工 業 】 科目【 工業技術基礎 】

学科・コース	電子機械科	学 年	第 1 学年	単位数	3 単位
--------	-------	-----	--------	-----	------

1 学習内容と学習到達目標

工業に関する基礎的技術を実験・実習によって体験させ、各分野における技術への興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解させるとともに、工業に関する広い視野を養い、工業の発展を図る意欲的な態度を育てます。

2 使用する主な教材等

- (1) 使用教科書，副教材等
 「工業技術基礎」「機械実習 1」（実教出版）・「産業財産権標準テキスト特許偏」（経済産業省特許庁）・各テーマ毎の自主教材
- (2) 授業で配布するもの
 実習素材，説明・演習プリント

3 年間の学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (特記事項や他教科との関連等)	考查範囲等
一 学 期	共通 【工業技術の基礎】		安全作業と報告・発表の仕方など取り組み姿勢について学びます。 技術の基礎となる工業計算や生産技術の重要な役割を担っているコンピュータや論理回路など制御技術について学びます。		考查なし
	【知的財産について】		知的財産の分類や必要性について学習します。		
	A パート 【手仕上げ】		工具の扱い方，ノギスに代表される測定器の使い方や図面の表し方を学び，けがき，切削，ねじ切り作業等を行います。		
	《課題・提出物等》 授業中に出题する課題 報告書（レポート）提出 製作物				
	《1 学期の学習状況の評価方法》 学期全体の評価は「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」の観点をもとに，課題・レポート・製作物・授業への取り組み状況で評価します。				

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 (特記事項や他教科との関連等)	考查範囲等
二 学 期	B部分 【旋盤】		最も広く使用されている工作機械である旋盤について概要や簡単な要素作業を習得するとともに、工作機械を扱ううえでの留意点を理解します。		考查なし
	C部分 【パソコン】		パソコンを利用して、ワープロソフトによる文書作成方法を学びます。(パソコン利用検定3級の内容を学びます) 表計算ソフトによる表作成方法を学びます。		
	《課題・提出物等》 授業中に出題する課題 報告書(レポート)提出 製作物				
	《2学期の学習状況の評価方法》 学期全体の評価は「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」の観点をもとに、課題・レポート・製作物・授業への取り組み状況で評価します。				
三 学 期	D部分 【電気計測・電気工事】		実験を通してオームの法則など電気の基礎や電子部品の基礎について学びます。また電流計などさまざまな測定機器の取り扱い方を学びます。 電線の切断、被覆、配線、器具の取付けなど要素作業を通し電気工事の基礎を学びます。また作業を通してニッパなど工具類の取り扱いについても学びます。		考查なし
	《課題・提出物等》 授業中に出題する課題 報告書(レポート)提出 製作物				
	《3学期の学習状況の評価方法》 学期全体の評価は「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」の観点をもとに、課題・レポート・製作物・授業への取り組み状況で評価します。				
	《年間の学習状況の評価方法》 上記共通と班分けしてA～D部分を順次学習します。 年間の評価は1学期・2学期・3学期の成績を総合して年間の学習成績とします。				